

教育講演のご紹介 (講演抄録一部抜粋)

日本作業療法士協会 倫理委員会
太田 睦美 先生

作業療法の質と倫理

作業療法の質に、倫理がどのように関係しているのかについて説明します。この機会を利用し、“遠い存在にある倫理”が少しでも身近な存在になるよう説明をしていきたいと考えています。



中通総合病院副院長 手外科専門医
千馬 誠悦 先生

よくある手指疾患

日常診療で遭遇する機会が多く、更年期女性に発生する頻度が高い疾患である「手指変形性関節症」、「手根管症候群」と「ばね指」について、病態の整理および治療法を提示し、治療上の問題店にスポットをあてて解説する。

秋田大学大学院医学系研究科
保健学専攻 作業療法学講座 教授
太田 英伸 先生

睡眠から子どもの1日の遊びをデザインする ～発達に最適な眠りと遊びとは～

子どもは遊びを楽しみながら、色々なことを学び成長していきます。ただ、どんな遊びが子どもの発達を最適化するのか、まだ明確な答えは出ていません。そこで最近の知見を振り返りながら、どんな遊びを、どんな風に1日の生活の中でデザインすれば、子どもが楽しく自分の興味を伸ばし、社会的コミュニケーションを伸ばすことが可能なのか、皆さんと考えて行きたいと思えます。



うめだ・あけぼの学園長
日本作業療法士協会 常務理事
酒井 康年 先生

地域における発達支援で
求められる作業療法の専門性

障害児通所支援においては、今年度4月から報酬改定を受けて、現場にて具体的な変化・変更・対策が求められることとなった。しかしながら、作業療法士の現状はどうであろうか。この領域で働き、活躍する人が増えており、積極的に活動展開している人が増えている。一方で、通所における作業療法士の役割がわからないとか、専門性に迷うとか、アイデンティティに不安があるなどの悩みを耳にすることも少なくない。

本講演では、作業療法士に何が期待されるのか、それが実現されるための作業療法士の専門性をどのように考えるかをお伝えする。



日本作業療法士協会 理事 教育部長
竹中 佐江子 先生

地域共生社会に資する作業療法士の育成
—新しい生涯学修制度と作業療法士の
キャリア形成について—

当協会では、2025年4月に新たな生涯学修制度をスタートさせるべく、準備を重ねてきた。生涯教育制度は複数回の改定を経て、会員の自己研鑽とキャリア形成を支援する制度として運用してきたが、作業療法士に求められる地域ニーズ、職域の広がりに対応するため、また就業形態やライフスタイルの変化にも対応しうる制度への変革が求められている。新たな制度では、現行制度における認定作業療法士・専門作業療法士取得促進のために、登録作業療法士が導入される。登録作業療法士は、認定作業療法士・専門作業療法士の前段階に位置づけ、2年間の前期研修、3年間の後期研修を修了し5年毎の更新とする。登録作業療法士は、より多くの作業療法士がキャリア形成に役立てるべく5年を目途に取得できるよう準備を進めている。

まだ間に合う!

秋田の自慢の食と美酒の競演

懇親会のご案内



日時：7月13日(土) 19:00～
場所：秋田キャッスルホテル 4階 放光の間
参加費：7000円

秋田県士会が誇る自称日本酒ソムリエ田村がセレクトした美酒の数々と
それにあう秋田の郷土料理でおもてなし致します!
次号 No.3 でメニュー・日本酒リストを紹介します

学会参加とともに
こちらの参加登録サイト
からお申し込みください。
Web 申し込み締め切り
7/5(金)まで